



## スタート 2014

さらなる充実を求めて！

茨城県行政書士会

会長 國井 豊

名実ともに新年度に入りました。月並みですが、出会いと別れの季節であり、私たち日本人にとっては、正月同様、新しい誓いを立てる大きなチャンスともいえます。会員の皆さんにおかれましては、何か新しい取り組みをはじめられましたか。それとも、既存のことを強化し、さらなる充実を求められたのでしょうか。新緑の季節、せっかくの機会ですから、心機一転、貪欲に新しい挑戦を仕掛けていきたいですね。

おかげさまで25年度会業務も、ほぼ予定どおり遂行することができました。執行の基本は、すべての皆さんの満足、効率的かつ効果的な推進による最高の成果であり、支部との連携のもと、一丸となって取り組んだつもりです。しかし、思いとは裏腹に、乏しい成果であったり、満足度が低かったりと、反省すべき事柄が存在したかもしれません。新年度総会までに、25年度決算と26年度予算編成を同時に実施します。しっかりと総括し、100%の満足、充実の成果が得られるような、そんな新年度をめざしてがんばってまいります。なによりも、温故知新、守るべきは守り、新しい取り組みにも果敢に挑戦したいと思います。そのためには、会員の皆さんからのご意見ご批評等が必要不可欠です。皆さんのお声を力に変えて、理想の追求に尚一層、邁進する決意です。

前号でも申述いたしました非行政書士排除運動の体制が整いました。県総務部長通知は想像以上に、行政の窓口等関係機関への周知が

なされているようです。会としては、人事異動等の落ち着きを待って、一気呵成に行政書士法の趣旨をPRし、取り組みの強化を図る計画です。行政書士証票の携行等、会員一人ひとりが足並みを揃えることが、目的達成への近道です。ご支援ご協力の程、よろしくお願いいたします。

一方、日本政策金融公庫と業務提携をいたしました。これらにつきましても、実務スキームが整いつつあります。これまで依頼者や公庫の担当者との個別対応であった行政書士との関わりを、より緊密なものとし、組織間連携の強化により、システムティックに速動させます。想定通り機能すれば、新規創業や助成金申請等々、大きな業務拡大に繋がります。ぜひ、成功させていきたいと思えます。

また、市中銀行との提携につきましても、様々な模索検討を進めております。金融機関との連携は、その市場規模から有益な成果を得ることが、期待できます。しかし一方で、受け皿としての会や行政書士の機能強化は、これまで以上に求められます。提携先における制度への理解促進を基本に、会や会員のレベルアップを図り、信頼と期待に応える行政書士制度を構築します。

すべての業務執行には、理念が必要です。将来ビジョンを見据え、行政書士制度の原点に立ち返り、確かな歩みを進めてまいります。皆さんのより一層のご理解ご協力を伏してお願い申し上げます。